# JAPRS

MAY. 2010 No.2 初夏号

社団法人 日本音楽スタジオ協会

### 目 次

平成22年JAPRS新年会	1
第9回異業種セミナーレポート	2
専門学校委員会 大阪地区レコーディングセミナー報告	3
第23回NHK技術交流会レポート	5
2010年JAPRS新プロ・エンジニア研修会レポート	7
会員動向	9

#### 平成22年JAPRS新年会

1月21日 (木)、平成22年JAPRS新年会が開催されました。本年は、昨年に続き元赤坂・明治記念館 2 F「鳳凰の間」に於いて108名の参加者により実施されました。

18:30 総務委員会の佐々木委員長(アザブ・オー・スタジオ)、町田副委員長(ゼネラル通商)の司会により開宴となり、最初に内沼会長が年頭の挨拶を述べられる。



内沼 会長



続いてご来賓の方々を代表し、経済産業省 商務情報政策局 文化 情報関連産業課 課長補佐 木本 直美 氏が挨拶される。

経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課 課長補佐 木本 直美 氏

続いて乾杯となり、関連団体を代表して(社)日本オーディオ協 会会長 校條 亮治 氏により乾杯の発声が行われ、歓談の時間とな る。



(社)日本オーディオ協会 校條 亮治 氏



正会員、賛助会員の他にもJAPRSに関連する 12団体からの招待者が加わり、会場の所々で 歓談の輪が出来る。



石野 副会長

20:10 中メの時間となり、石野副会長挨拶の後、20:30 無事に終了することが出来ました。

#### 「第9回異業種セミナー」を受講して

東放学園音響専門学校 奈木野 浩

今回はオリコン株式会社代表取締役兼CEO 小池 恒氏を迎えてのセミナーを受講させていただきました。異業種というより、音楽業界の動向を客観的に考察するという意味においては、近接的なセミナーという感じの内容でした。

小池氏の経歴からオリコン株式会社の業務の主旨、目的のご 説明を皮切りに、テンポ良くお話いただきました。

ランキングがもたらすブランディング機能や年代ごとの音楽 シーンも興味深く拝聴し、また音楽の使用に関しては落ち込み がないこと(JASRAC徴収額)、音楽配信が頭打ちになってきた ことなど実際のデータをもとに詳しくご説明いただきました。



小池 恒 氏(オリコン株式会社代表取 締役兼CEO)

音楽業界の低迷は当協会としても直接影響を受けるものですが、このように時代の変化を 見極める必要もきわめて重要なことでしょう。

1つのヒントとして音楽を生活提案からの視点を広げたり、ネットのプライシングゼロからの考え方などはとても気になるポイントでもありました。

音楽の形態、メディアは変化しますがその根本となる一般ユーザー(生活)の視点から音楽ビジネスを考える必要性を協会としても受け止め、音楽制作の現場もうまく対応していかなくてはならないことを強く感じました。

教育現場の立場からもこの音楽業界の動向 を学生に伝え、広い視点を持ったエンジニア 育成にも力を注ぎたいと思います。

今回、ご講義いただいたオリコン株式会社 小池氏はじめ、セミナーを準備いただいた関 係者に改めて感謝いたします。ありがとうご ざいました。



#### 専門学校委員会 大阪地区レコーディングセミナー報告

キャットミュージックカレッジ専門学校 酒井 勇二

去る2月20日(土)~2月21日(日)に、大阪地区のJAPRS賛助会員として加盟している専門学校3校(ビジュアルアーツ専門学校大阪[以下VA大阪]、専門学校ESPエンタテインメント[以下ESP]、キャットミュージックカレッジ専門学校[以下CAT])合同で、毎年恒例の吉田保さんをお招きしてのレコーディングセミナーを開催しました。昨年から3校のスタジオを使用しての開催となり、昨年は初日がESPで録音セミナー、2日目がCATとVA大阪でミックスダウンセミナーを実施しましたが、「今後は、毎年ローテーション実施をしていきましょう」という当初よりの3校担当者での話し合いに基づいて、今年は初日はCATで録音セミナー、2日目はESP、VA大阪でミックスダウンセミナーを実施することになりました。2日間で3校を「はしご」するという無謀な企画にも関わらず、吉田さんは今回も快く引き受けて下さいました。本当に有難うござました。

昨年同様、初日の録音セミナーはスタジオとなる学校が演奏者を手配するということで、今年はCATが経験豊富な講師の先生方を揃えて実施しました。2日目のミックスダウンセミナーの午前中は、CATと同様にアイコンを導入しているESP、そして午後の部のVA大阪は、あえてデータをSSLに流し込んでミックスを…というメニューで進めていくことになりました。



そして迎えた初日午前の部。VA大阪、ESP、CATの3校から集まった約20名の学生達でぎっしりのCATのスタジオで、レコーディングセミナー午前の部がスタートしました。午前の楽曲は、今大人気のロックアーティストSuperflyの『愛と感謝』。まずスタジオでのマイクのセレクトやマイキングについてのレクチャーがあり、学生達は吉田氏の作業におけるポイントの説

明等を熱心にメモを取りながら聞き入っていました。そしてコントロールルームに戻りアイコンを使いながら、レコーディング作業の注意事項や、レベルの設定、EQ等の作業をレクチャーしながら、吉田さんはテキパキと作業を進め、演奏者の先生方も録音に手馴れておられたこともあり、あっという間の約3時間でレコーディングが終了しました。そして休憩後、午後の部も約20名の学生が参加してスタート。午前と同じSuperflyの『How Do I Survive?』を同じ演奏者でレコーディグ、そしてレクチャーしていただきました。

翌日の2日目はまず、ESPでのミックスダウンセミナー。学生達にも見やすいようにスクリーンにToolsのPC画面を拡大して実施しました。録音からミックスにかけての計算されつくしたレベル調整等、これぞプロの技というものを吉田さんは充分披露して下さいました。吉田さんの作業に圧倒されていた学生達からのピュアな質問に対して、非常に丁寧に答えていただき、本当に内容の濃い3時間のセミナーになりました。そして、昼からは場所をVA大阪に移して、SSL卓でのミックス。午後の部も学生達にとっては、吉田さんの作業の中から、たくさんの録音現場を経験しておられるからこそ気づけることや、いろいろな応用や発想を垣間見ることができたセミナーでした。その後、学生達から提出させたレポートでも「内容は深かったけど説明はすごくわかりやすかった」「丁寧に質問に答えてもらって嬉しかった」等、予想通り絶賛の感想ばかりでした。

吉田さんは、昨年同様のハードスケジュールをこなすため、大阪で2泊していただき、2日間みっちり学生達にセミナーをしていただきました。そろそろこのスケジュールにも慣れていただいたかと思います。(笑)

来年は、初日がVA大阪での録音セミナー、2日目がESP、CATでのミックスダウンセミナーというローテーションが予定されていますが、機材や各校の参加人数を考慮しながら意見交換をおこない、最終確定をしていきたいと考えております。また来年も是非お願い出来ればと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### 第23回NHK技術交流会レポート

(株) フリーダムスタジオ 目等 進氏

2月25日(木)NHK放送センター CR506stにて、第23回NHK技術交流会が開催されました。今回はNHK放送技術局と技術委員会の協議により、「Pro Toolsオペレートの実際」をテーマとして交流会を開催する運びとなりました。

参加者は、NHK放送技術局8名、JAPRS6名、交流会スタッフとして、JAPRSより7名の合計21名により実施されました。

交流会準備のため、10:30集合となったスタッフ・演奏メンバーが時間通り集合し、NHK放送技術局の方々と、セッテイング・サウンドチェックを始めました。(寒い中、朝早くからご苦労さまでした!)

13:30より開始された交流会は、冒頭、JAPRS清水技術委員長より挨拶が述べられた後、今回演奏をして頂く「AI-CREWS」のメンバーをESPミュージカルアカデミーの井良沢先生から紹介して頂きました。

続いてサウンドインの河野氏から、「作業状況に合わせたセッションの作り方」に関して、パワーポイントと配付した資料に基づき、様々な録音作業に合わせたPro Toolsのセッションの作り方、作業上の設定など細部について説明が行われました。幾つかの質疑応答もあり、参加者にとって分かりやすい講義になったと思います。



次に、「AI-CREWS」(Dr, Bass, E.Gt, Key, Vo)による実演・Pro Toolsによる収録に入りました。ミキサーは、内沼会長、オペレータは石(せき)氏(ミキサーズラボ所属)が担当し、石氏より、午前中のリハーサル時に作成したセッションファイルの説明が行われました。今回は収録時間の関係上、KeyboardのDB用音源、クリックのデータを事前に制作し持ち込んで頂いた

ため、前作業も含めた説明が行われました。サウンドチェック後、ベーシックトラックの録音が行われました。演奏メンバーもいつもと様子が違うのか、多少の緊張もあって数回目のテイクでOKテイクとなり、プレイバック時では、石氏がプレイバックをしながら演奏していない部分のMUTE(データのCUT)を作り、幾つかのパンチイン・アウトの処理等を行う一連の作業については、Pro Tools画面をプロジェクターで投影しリアルタイムで参加者に見て頂きました。

石氏にとっては、通常使用しているPro Toolsと異なるため、「システムの状況を考えながら、止まること(プレイバックが)の無いよう安全に作業しました。」との事です。

次に、GtのソロパートのDBを行いました。テイクキープしながら、新しいテイクの 収録等、パンチイン・アウトを繰り返しながら、OKテイクの編集を行い、石氏の作業 についてはプロジェクターを通し、参加者が作業内容を理解できるよう補足説明を加 えながら行いました。

Vocal DB、Chorus DBに関しても、パンチイン・アウトを行いながらプレイバック

作業中にチャンネル整理やLEVELチェックを行い、OKトラックの制作などを行いました。特に、Vo DBでは数多くのトラックが発生するため、必要なトラックにネームを付ける習慣などは、一定のルールに基づいて行う方が良いとの説明がありました。また、Vocalセレクターも併用することで、作業がスムーズになるとのことでした。



収録を終え、すぐに内沼会長による仮ミックスの制作に移りました。

仮ミックスを作成する際は、ミキサーの指示により、Pro Tools内でのクロスフェードやフェーダの調整に続き、ミックス時の細かいレベル調整を行いました。仮ミックスの完成後は、演奏メンバー・参加者に試聴して頂き、収録セッションを終了しました。

質疑応答は、セッションを作る時からの注意点や、オーディオトラックの整理など、 実作業に伴う作業の留意点を中心に取り上げられました。

また、内沼会長より今回(株)エレクトリより提供されたデジタルマイクの使用感なども報告され、和やかな雰囲気で交流会を終了しました。

最後に、今回のNHK技術交流会を開催するに当たり、朝から御協力頂いたNHK放送 技術局 深田氏、小野氏、中川原氏に感謝申し上げます。

また、御協力頂いた内沼会長、石氏、JAPRSスタッフの方々には、この紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。

#### 2010年JAPRS新プロ・エンジニア研修会レポート

2月28日(日)、飯田橋・東京都しごとセンター地下講堂に於いて、専門学校委員会 の主催により「2010年IAPRS新プロ・エンジニア研修会」が開催されました。

この研修会は、これから音楽スタジオ業界に就職を目指すJAPRS賛助会員専門学校 1年生を対象とし、エンジニアという仕事について、また望まれる人材と仕事の現状 を講義形式で学ぶ研修会で、今回が第10回目の開催となりました。

今回は参加予定者129名のところ118名が参加、(内訳は札幌7名、仙台13名、東京78 名、名古屋5名、大阪15名)エンジニアという職種に対する関心の高さが伺えました。



当日は、13:00に専門学校委員会担当者9名、事務局員3名が東京都しごとセンタ ー地下講堂に集合し、13:30からの参加者受付に備え、準備を開始しました。

昨年と同じ会場ということもあり、会場準備もスムーズに行われ、参加学生も着席 し時間どおり13:45より脇田 副委員長の司会のもと、研修会が開始されました。

講師の講演に先立ち、内沼 映二会長よりJAPRSの活動内容、研修会の目的等が説明 された後、以下の内容で各講師により講義が行われました。

- 1. 「レコーディングに関わるスタジオ | 江下 規彦 氏 (株) バーニッシュ
- 2. 「エンジニアの魅力と望まれる人材像 | 吉田 保 委員長



江下 規彦 氏 (株)バーニッシュ



#### 3. 「現役アシスタントエンジニア特別コーナー」

コーナー司会:脇田 貞二 副委員長

アシスタントエンジニア: 岡本 和憲氏 サウンド・シティ

キャットミュージックカレッジ専門学校 OB

北山 俊介氏 エービーエス レコーディング

ESPミュージカルアカデミー OB

波房 渉氏 ミキサーズラボ

ESPエンタテインメントOB

光井 里美氏 サウンドイン

専門学校東京ビジュアルアーツ OG



#### 4. 「資格認定制度について」 井良沢 元治 副委員長

#### 5. 「専門学校委員会からのインフォメーション |

脇田 貞二 副委員長

今回も東京地区以外では、札幌、仙台、名古屋、大阪からの参加者がありました。 7月と9月に実施される技術認定試験へのチャレンジも含め、この研修会に参加し

た学生達が1人でも多く、スタジオでアシスタントエンジニアとしてスタートされることを願っています。

ご協力いただいた講師の皆様、現役アシスタントエンジニアの方々およびスタッフの方々に心より御礼申し上げます。



#### 会 員 動 向

1. 会員数(平成22年4月1日現在)

- 2. 退会
  - ①正会員
    - ○株式会社ペニンシュラ 平成22年1月31日付
    - ○株式会社エス・イー・エス (山中湖スタジオ) 平成22年3月31日付
  - ②替助会員 I
    - ○ゼネラル通商株式会社

平成22年 3 月31日付 平成22年 3 月31日付

○ティアック株式会社

- 3. 法人・会員代表者および住所変更、その他
  - ①法人正会員
    - ○株式会社バーニッシュ

#### 【代表取締役氏名変更】

- (旧) 吉岡 志朗
- (新) 大崎 志朗
- ○株式会社プラネット・キングダム

#### 【ホームページ立上げ】

http://www.planet-kingdom.co.jp

○株式会社東急文化村

#### 【法人代表者変更】

- (旧) 田中 珍彦(代表取締役社長)
- (新) 渡邊 惇(代表取締役社長)

#### 【協会担当者変更】

- (旧) 益子 秀博(取締役)
- (新)池田 光宏(事業部部長)
- ○株式会社エムアイティギャザリング

#### 【オフィス住所変更】

- (旧) 〒108-0014 港区芝4-5-11-2F
- (新) 〒108-0014 港区芝4-3-14 (MIT STUDIO内)

TEL: 03-3454-5124 FAX: 03-3455-4205 (電話番号、FAX番号変更なし)

- ② 賛助会員
  - ○カナレ電気株式会社

#### 【住所変更】

· 東京事業所

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 新横浜WNビル6F

TEL: 045-470-5565 FAX: 045-470-5567

· 名古屋本社

〒470-0112 愛知県日進市藤枝町奥廻間1201-10

TEL: 0561-75-3001 FAX: 0561-75-3007

○大阪スクールオブミュージック専門学校

#### 【FAX番号変更】

- (旧) 06-6536-2900
- (新) 06-6536-3317
- ○オリコン・エンタテインメント (株)

#### 【協会担当者変更】

- (旧) 西久保 秀文 (オリコン・コミュニケーションズ (株) 戦略企画部に転籍)
- (新) 葛城 博子 (ORICON BiZ編集部 編集長)
- ○東放学園キャリアサポートセンター

#### 【住所変更】

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-2 東放学園新宿研究所 3 階

TEL: 03-5333-5851 · 0120-375-099 FAX: 03-5333-5096 · 0120-375-033

(TEL、FAXは変更ありません。) 平成22年3月16日 (火) より

○学校法人 東京安達学園 専門学校東京ビジュアルアーツ

#### 【学校長変更】

- (旧) 中嶋 好仁
- (新) 橋本 邦比兒 (はしもと くにひこ)
- ○学校法人 東放学園 東放学園音響専門学校

#### 【学校長変更】

- (旧) 横田 淳 (キャリアサポートセンター センター長へ異動)
- (新) 奈木野 浩

#### 【協会担当者変更】

- (旧) 奈木野 浩
- (新) 稲生 力(教務教育部部長)
- ○学校法人 大阪創都学園 キャットミュージックカレッジ専門学校

#### 【協会担当者変更】

- (旧) 酒井 勇二
- (新)和田 伸一
- ○スチューダー・ジャパン-ブロードキャスト株式会社

#### 【住所変更】

〒108-0075 東京都港区港南3-5-14

ヒビノ株式会社 本社A舘5階

TEL: 03-3450-4851 FAX: 03-3450-4852 (TEL、FAXは変更ありません。)

○学校法人 慈慶学園 東京スクールオブミュージック専門学校

#### 【協会担当者変更】

- (旧) 岡橋 典子
- (新)松永 昭一

#### 4. その他

○代表取締役社長変更

ビクタークリエイティブメディア株式会社

- (旧) 杉野 健一
- (新) 濱口 敏明

#### ○事業移管

オーディオ・プロセッシング・テクノロジィ株式会社 平成22年1月解散 →株式会社テクノハウス 平成22年1月20日付 移管する人員(鈴木 京、北條 陽士、山本 二三男)

○住所変更

社団法人 日本演奏連盟

〒105-0004 港区新橋 3-1-10 石井ビル6F

TEL: 03-3539-5131 FAX: 03-3539-5132

○組織変更

一般社団法人日本レコード協会

畑 陽一郎 事務局次長 兼管理部部長 兼管理部情報・技術グループ長 岡野 瑞樹 管理部情報・技術グループ担当課長 平成22年4月1日付

#### ♪ 編集後記♪

世間の分析では、景気は穏やかながら回復し始めている、とのことですけれど、早くスタジオにも活気が戻り、「音にこだわったサウンド創りをしたい!」と思って下さるクライアントが多くなり、満員御礼の札を掲げたいものですね!

Y.S

4月より新年度がスタートし、事務局も本年度の資格認定試験の準備、決算・予算関係資料作成等々ラッシュアワーを迎えていますが、本年度も、元気に行きましょう。 hair ken short

異常気象の中、また暑い夏がやって来ます。夏が苦手な私は冷夏であってほしいと願いますが、どうなることやら?

yakiton

毎年楽しみにしているバラの季節。今年はどこへ行こうか検討しつつ、愛用のデジカメ もそるそる買い替え時かなあなどと、いろいる思案中です。

mm

 委員長 梶原 裕子 (Azabu O Studio)
 委員 佐藤 賢一 (事務局)

 副委員長 茂木 泰佑 (個人会員)
 " 山本 薫 ( " )

 " 伊東 真奈美 ( " )

【発行人】 会 長 内 沼 映 二 【発 行】 2010年(平成22年) 5月

【発行所】 社団法人 日本音楽スタジオ協会

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目1番11号 モナーク大久保3F

TEL. 03-3200-3650 FAX. 03-3200-3660

http://www.japrs.or.jp E-mail:japrs@japrs.or.jp

【編集】総務委員会 【印刷所】株式会社研恒社

## JAPRS

Japan Association of Professional Recording Studios http://www.japrs.or.jp E-mail:japrs@japrs.or.jp